

捨てないで 天ぷら油

使用済み食用油の回収にご協力ください!!



使用済み油は、油の入っていた容器などに入れて、回収所に出しましょう。

地球にやさしい

バイオディーゼル

市では、地球温暖化防止対策と廃棄物の資源化、減量化対策の一環として、ご家庭の使用済み食用油を回収し、環境にやさしいバイオディーゼル燃料（BDF）を利用する取り組みを行っています。

BDFは、生物由来油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称で、排気ガス中の二酸化炭素・黒煙・硫黄酸化物の排出量が大幅に減ることから、地球にやさしい再生可能エネルギーと言われています。

今年2月に策定した本宮市地域新エネルギービジョンによると、市内の一般世帯から排出される廃食用油の7割をBDFに精製すると仮定すると、原油換算で約2万6千リットルとなり、二酸化炭素は196トン削減されることとなります。

各家庭の台所から気軽にできるエコ活動です。市民の皆さまのご協力をお願いします。回収方法や回収場所は次のとおりです。

【回収する食用油】

菜種油、コーン油、ごま油、ひまわり油、大豆油などの植物性油

【回収場所】

▽本宮市役所

▽えぼか（本宮市民元気いきいき応援プラザ）

▽中央公民館

▽白沢公民館

【回収方法】

使用済みの油を、油が入っていた容器などに移し替え、回収場所にご持参ください。なお、賞味期限が切れた油も対象となります。中身がこぼれないようにしっかりとフタをして回収専用コンテナに出してください。

◆問い合わせ先

生活安全課環境保全係
（☎内線 114）



▲回収ボックスの外観

公用車にもBDF使用

本宮市では、えぼか（本宮市民元気いきいき応援プラザ）の利用者送迎に使うえぼかバスと災害対策本部車にバイオディーゼル燃料（BDF）を使っています。

使用している燃料は、二本松市のおおぞら福祉会菊の里で精製されたものです。

※その他の車両にもバイオディーゼル燃料の使用を増やしていく予定です。



▶5月21日に行われたバイオディーゼル車運行開始式の様子

ご協力ください セタライトダウン！

豊かさとし便りさを追求し大量のエネルギーを消費してきた社会は、地球温暖化、環境問題やエネルギーの枯渇など深刻な問題を抱えています。

これらの問題を解決するためには、資源を有効に活用し、二酸化炭素をできるだけ排出しない取り組みを進める必要があります。

日本は、二酸化炭素をできるだけ排出しない社会の実現に向けて「クールアース推進構想」を世界に提案しています。環境省は、環境問題を国民全体で再認識するため、7月7日を「クールアースデー」と定め、夜8時から10時までの2時間、施設や事業所、家庭などで一斉に電気を消す「セタライトダウン」を呼びかけています。電気を消すことで、いままでどれだけ電気を使用していたのかを実感することができ、あらためて電気のありがたさがわかるとともに、無駄な電力消費を抑えるようになります。

このライトダウンにご協力いただき、夜空の星を見上げたり、ご家族との語らいの時間として過ご

されてはいかがでしょうか。

地球温暖化問題の取り組みのひとつとして、ご家庭での「セタライトダウン」にご協力をお願いします。（参考：環境省、文部科学省ホームページ）



環境にやさしい肥料

「かんきょう炭」を

ご存じですか？

安達地方広域行政組合が運営しているあだたら環境共生センターでは、浄化槽汚泥などを浄化する過程で発生する汚泥を高温で炭化させ肥料にする「かんきょう炭」を製造・販売しています。

無臭で環境にやさしい肥料として、家庭菜園などの肥料としてご利用いただけます。詳しくは、あだたら環境共生センターにお問い合わせください。



▲高温で処理しているので無菌、臭いもない小粒状の肥料です。

◆問い合わせ先

あだたら環境共生センター

☎ 22-0958